



梅の公園にお別れ

ついにすべての梅の木を伐採することになった梅の公園。梅の木よ、毎春美しい姿を見せてくれてありがとう。

梅の里の再生は年月のかかるたいへんなことですが、ていねいにやり遂げていきたいものです。今後3年間ウメウィルスが発生しないことが確認されれば、新しい苗木を植えることができます。



多治見市に視察

環境建設委員会でごみ・企業誘致・観光振興にぐいぐい取り組んでいる岐阜県多治見市に視察に行きました。広さ・人口はほぼ青梅市と同じ。会議室に突然古川市長が現れ、約20分話をされていきました。



↑もと職員だったが「言いたいことを言い過ぎて早期退職」したという多治見市古川市長。ユーモアがにじむ人柄。「職員とは対等に議論しあう」そう職員の人たちもリラックスした様子。

○トヨタ、アマゾンという大企業を市内に誘致した。その工夫には感心しました。

○ゴミ対策もすごい。

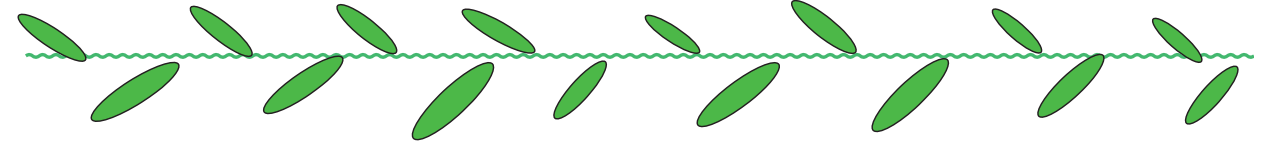
- ・ごみと資源の収集費用は約3億円。青梅市は戸別収集なのでシステムが違うが9億円以上かかっている。
- ・ごみ袋を有料化した収入を貯金にして、ごみを減らした市民に還元する。
- ・ごみの量を減らして、はじめの計画の1/20の規模の最終処分場を実現。

○計画書を作って満足して終わってはだめ。計画書はうすくていい・・・本当にそうですね。

市長が疾風のように去った後「これだったら職員も生き生き働くなあ…」とつぶやく声も。たくさん学んで私も元気がわきました!!



ひだ紀子



2月の大雪はたいへんでしたね

雪かきで腰をいためた方も多かった（私もその一人）

市内の幹線道路はなかなか除雪が進まず、市民生活に大きな影響がでました。

市役所は「想定外の大雪」「除雪の機材が不足した」「雪を捨てるところがなかった」と説明をしていますが、対応が遅れたことを指摘する市民の声は私のところにもたくさん届いています。

議会でも多くの議員が質問しました。

捨てられた情報

「〇〇道路が通れない!」「〇〇がすごい渋滞だ!」など市役所には市民からたくさんの電話がかかってきました。ところが驚いたことに、市役所は電話の記録を取っていないとのこと。市内を把握するための貴重な情報です。こういう時こそ市民の声を活かしてほしい!

えっ、管轄が違う?

「国道・都道は東京都の管轄ですからそっちに聞いて下さい」という市役所の姿勢はおかしくありませんか。道路は体にたとえれば血管と同じ。どこかが詰まれば他のところに重大な影響が及びます。全体を見る目を持って対処してほしい。

除雪に6800万円

今回の除雪を契約業者に委託するのにかかった費用です。その委託もスムーズに機能したとは言えません。またボランティアで手持ちの小型重機を出し近所の除雪をして下さった事業者がたくさんありましたが、市長は「ボランティアには燃料費などは出さない」と言っています。この点も含めて今後除雪をどう進めるか、見直していくべきだと思うのです。

4日後に対策本部

奥多摩町、八王子市などは15日には対策本部を設けましたが、青梅市は雪の降り始めから4日後の17日(月)ようやく対策本部を設置。病人に対する配慮という点でも問題あり。



議会内会派名〈みどりのオンブズマン〉 ひだ紀子議会報告 vol.18 2014.春

連絡先: 〒198-0171 青梅市二俣尾2-435
tel/fax 050-1332-9289 メールmidorionbu@msn.com
☆詳しい事はホームページをご覧ください

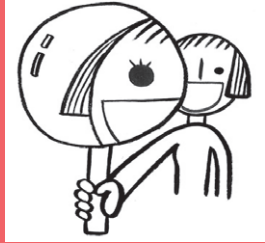
ひだ紀子で検索できます



みどりのオンブズマン

青梅市議会議員・議会報告 Vol.18

ひだ紀子はこうチェックした



ソーラー発電機等への補助金、カットに

原発や化石燃料に依存しないエネルギーを使っていくことで地球温暖化を防止することができます。地元産材を使うことで山が活かされ、この地域にお金が回ります。新しい経済・社会へのビジョンが大切だと思います。私も固めた木くずを燃やすペレットストーブを使い始めました。しかし青梅市は26年度予算から再生エネルギー利用への補助金をカットしてしまいました。本来、環境に資する補助金はコツコツ長く出し続けるべきではありませんか。青梅市は 原発を推進していこうとする安倍政権と歩調をそろえようとしているのでしょうか。

主治医をかえられる？

患者と医師との間に信頼関係があれば一番いいのですが、人間同士ですからそうはいかないときもあります。どうしても納得がいかない時、患者は主治医を選ぶ(かえる)ことができます。これは日本医師会・日本看護師会も認めている患者の権利の一つなのです。しかし市立総合病院では精神科で初診患者に「主治医をかえることはできません」といったお知らせを配っています。

心を病む人こそ主治医との関係が治療に大きく影響すると思います。医療の現場ではいろいろな事情があるとは思いますが、他の診療科では患者さんからの申し出を尊重してくれるとのこと。精神科でもぜひ考え直してほしいと思います。(これについては昨年議会で取り上げたのち反響がいろいろあり、市民の関心が高い問題だと感じています)

おかしいことは
おかしいと
いえるまでに

青梅市観光協会 12年間も最低賃金違反！

働く人を守るため「最低賃金」というものが決められています。都内では時給869円(平成25年秋より)これを下回ると違法です。ところが青梅市観光協会は平成12年～24年、観光案内所で働く人の日給を5000円から5500円としてきました。昼休みの規定なしの8時間勤務だったので時給にすると688円。平成24年には最低時給を163円も下回っていたのです。業務委託の形を取っていましたが、一種の「偽装委託」であり、違法だということが労基署に相談して分かりました。

この期間、青梅市観光協会の事務を行っていたのは青梅市商工観光課でした。市の責任を問いましたが、市長は「事務を代行していただけ」と答えました。何と無責任な!! 市は毎年青梅市観光協会に多額の補助金を出しています。26年度は約1800万円。これだけの補助を出しているのにフィルムコミッション事業など観光振興の新しい取り組みがほとんど進んでいない。大いに疑問です。



市の財政17億円不足に！

お金が足りない
来年は17億、再来年は14億円が足りないという市の財政見通しが出ました。国から認められている「臨時財政対策債」という借金をギリギリまでしてもこれだけ不足するのです。市税収入が少ないということは市民の収入が少なく暮らしが厳しい、ということです。こういうときに東青梅周辺の大きな道路工事の出費が大幅に増えようとしています。財政予測が甘いのでしょうか。総合高校から千ヶ瀬バイパスへつながる道路を広くするため崖線の木を300本伐ることも私はうなずけないのです。